

先般の県議選において選舉公約の一つとして回賀野高等学校の存続を市民の皆さんへお約束していました。その具体策として、県、市当局との連携を図りながら、「回賀野高等学校を活性化する意見交換会」を市役所での月13日に開催。県教育委員会が示した「令和2年度から地域と連携した特色のあるコースを設置する。」原案の方で全体の意見を集約し、9月までに原案をたたき台にして意見交換会を重ねることになりました。



昌黎立阿智野高等学校全景

今月号は、7月号に続いて県立阿賀野高等学校の活性化について取り上げます。

みんなで考え、応援しよう。 地元の高校！

新潟県議会議員

帆苅謙治

「第2回県立阿賀野高等学校を活性化する意見交換会」開催！



県議あいさつ

長、総務文教常任委員会委員長、阿賀野経営者同友会等以外に、市内の中学校関係者らが出席し、市役所で8月23日に開催しました。

今回は、中学校関係者からの進路指導などの状況報告や阿

**市内の中学生に對して阿賀野
高校の魅力を伝えよう！**

して阿賀野高校が必要であること…。県議になつた頃は、県庁に約70名、当時の水原高校校の職員がおられました。



第2回 意見交換会

賀野高校の活性化について、発な意見交換を行いました。

判断をしていかなければなら
ない。

私は、2学級という話もあるが、何としても3学級は必要と思っています。皆さんのお力を借りて、一人でも多く阿賀野高校へ進学するよう、市内の中学生の子どもたちへ阿賀野高校の魅力を伝えていかなければならぬと考えています。」との趣旨で述べさせていただきました。

■総合選択制の 高校とは？

◆1年生…共通の授業で

令和2年度 入学生の 卒業までのイメージ

◆1年生…共通の授業で基礎学力を定着

◇
2・3年生

地域探究コース

普通教科に加え、商業系科目の選択も可能です。また、地域課題の解決などにも取り組みます。

卒業後の進路 ↓ 就職・専門学校等への進学等

教養コース

進路希望に合わせた教科・

ます。

門学校への進学等

■阿賀野高校の

新しい阿賀野高校の 学習内容

「現在検討中の一部を紹介します。」

◆1年生(全員共通)

学校設定科目

自分デザイン

- 自己理解、職業選択とあわせて、地域社会や地域課題について学びます。
- 将来の自分が、どのように社会貢献できるかについてじっくり考えます。

◆2年生(全員共通)

学校設定科目

未来デザイン

- 5日間のインターンシップをとおして体験的に職業について学ぶとともに、発表会で地域の方々に学んだことを発信します。

◆3年生(地域探究コース)

学校設定科目

地域デザイン

- 地域資源等を活かした商品の企画開発などをとおして、地域課題の解決や魅力の発信について取り組みます。
- 観光等をテーマとした学びをとおして地域活性化についても学びます。

新しい阿賀野高校づくりにあたっては、市内の中学校関係者からの意見等を踏まえて、中学生、保護者にとつて魅力のある学校づくりに向けて、今回示された「原案」をベースにして具体化していかなければならぬないと考えています。

阿賀野市活性!

持続可能な新しい阿賀野高校を応援しよう!



建設業でのインターンシップ風景



職業に対する意識啓発講演会

中学生にとって魅力のある学習内容に変えるための準備を進めています。

◆地域で支える意義とは?

阿賀野高校は、中学生自身が将来目指したい進学、就職に活かされる学習内容に変える方針を示しています。一方、高校と連携する地域企業は、若者の都市への流出などの影響もあって人材不足の課題を抱えています。

したがって、人材確保の観点から、地域企業と連携した特色のある学校づくりに大きな取り組む体制の確立が必要と考えています。

そこで、高校を地域で支える活動のあり方として、まず、学校と地域の企業との連携の当事者である、阿賀野経営者が期待し、魅力を感じることができるのは、高校、中学校、保護者、地域の皆さん等との連携を深めることによつて、持続可能な新しい高校として活性化されるものと期待しています。

将来は、地域経済をリードする起業家として活躍する人材が輩出されることも夢ではありません。地域企業にとって、優秀な人材を安定的に確保できる効果が期待されります。また、若者が地元に定着することによって、人口減少の歯止めにもなり、市のあらゆる分野での活性が期待されます。

同友会の皆さんのご理解とご協力を得ながら、広く市民の皆さまからもご賛同いただけますよう、具体的な応援の方を模索したいと考えています。

そこで、地域の組織の皆さんと問題意識を共有しながら、地域で支える活動を通して、地元の熱意や意見などを県教育委員会や学校関係者に伝えていくことが、高校の活性にとって必要なことではないかと考えています。

そこで、高校を地域で支える活動のあり方として、まず、学校と地域の企業との連携の当事者である、阿賀野経営者が期待し、魅力を感じることができるのは、高校、中学校、保護者、地域の皆さん等との連携を深めることによつて、持続可能な新しい高校として活性化されるものと期待しています。

したがって、人材確保の観点から、地域企業と連携した特色のある学校づくりに大きな取り組む体制の確立が必要と考えています。

したがって、人材確保の観点から、地域企業と連携した特色のある学校づくりに大きな取り組む体制の確立が必要と考えています。

したがって、人材確保の観点から、地域企業と連携した特色のある学校づくりに大きな取り組む体制の確立が必要と考えています。

◆地域で支える活動への参加!

阿賀野高校を地域で支える活動としては、すでに、PTA、後援会、五稜同窓会が組織され、それぞれの目的、役割を

◆地域で支える活動への参加!

阿賀野市が元気になる、提案・意見をお寄せ下さい。

特定の思想・主義の主張や、他者への非難や批判ではなく、あくまでも建設的な内容に限ります。文字数は400字以内です。

ほかりけんじ事務所
〒959-2221 阿賀野市保田 737-2
TEL:68-5441 FAX:68-5515
<http://www.hokaken.jp/>

ぜひとも、前述の趣旨にご賛同のうえ、阿賀野高校を地域で支える活動に参加していくだけるよう、市民並びに団体等の皆さまにご理解とご協力をお願いいたします。

◎「ほかりけんじ・県政便り」は、新聞折り込みでお届けします。